

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2022年3月1日 222号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

養蜂



養蜂箱から蜂蜜を収穫する。1月19日



巣箱から巣枠を取り出す。

ジャテイ (Yatei) と呼ばれる、針を持たないハリナシバチの一種で、体長5ミリほどの小型のハチもいます。その蜂蜜は目の感染症に特効があるとして、先住民の間では古くから民間療法に使われてきました。ジャテイの養蜂は難易度が高いとされています。

パンタナールの恵みをレダの産物に！

大自然が創造本然の営みを保つパンタナール。そこでは原初の生命力がみなぎっています。人間がエゴそのままに踏み込めば、たちまちすさまじい反撃を受け、感謝の心で謙虚に臨めば、恵みの扉が惜しみなく開かれることもあります。その恵みの一つをいただく養蜂は、人と万物がウイン・ウインの関係の中でのみ成り立ち、SDGsの精神にもかなう事業と言えるでしょう。

レダでは、開拓初期より試験レベルでの養蜂が試みられてきました。初期には青木賢次郎氏が、近年では青年の野口優太さんが熱心に養蜂研究に取り組みました。現在は岩澤所長の監督の下、レダの産品の一つとして発展させようとする努力がなされています。養蜂を行うことのメリットについては、昨年レダで養蜂の作業を体験してきた本田佳香さんの記事（四面）をご覧ください。

南米大陸には多種のハチが生息しています。レダでも私たちが天然のハチの巣と偶然に接触することは珍しくなく、うっかりぶつかると、大変な目に遭います。先住民が毒アリや毒蛇以上に恐れるのが、ハチなのです。

もともとアメリカ大陸には、ミツバチがいなかったのですが、セイヨウミツバチが導入されたから、新天地で大繁殖しました。その後、アフリカから導入した、やや凶暴な性格を持つアフリカミツバチが巣箱から逃げ出し、セイヨウミツバチとの交雑で生まれたアフリカナイズドミツバチが繁殖しました。このハチはプロポリスをよく作るので、主としてブラジルの養蜂家に利用されています。



源田さん(前列左2)とヌワビシさん(前列右)の歓送会。1月25日



レダ基地スナップ

思い出に満ちたレダを飛行機の窓から。源田さん撮影。1月26日



パブロさん50歳の誕生日。1月15日



岩澤所長へ、HAPPY BIRTHDAY! 1月22日



岩澤所長71歳の誕生日。1月22日



養蜂箱から蜂蜜を収穫。1月19日



2回目のワクチン接種：オリンポ市で。1月18日



ヌワビシさんの誕生日のお祝い。1月18日



新生の仔魚に餌を与える滝川君。



孵化7日目の仔魚を養殖池に入れる。1月18日

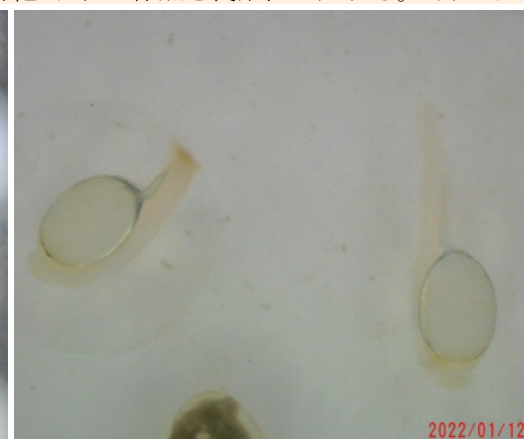


公館前でピクニック：美味しいマンゴー。



2022/01/12 08:05:25

受精後3時間経過したパクーの卵。



2022/01/12

受精後11時間経過したパクーの卵。1月12日



2022/01/15 02:

孵化4日目のパクーの仔魚。1月15日

持続可能な福地建設をめざして(9)

雇用は人と人の心情関係が基本

和田賢一



働きがいも
経済成長も

単に表現すれば、「健全な経済成長を進め、それに伴って人々が安定した働き場所が確保できるように」ということでしょうか。

このSDGsのゴール8は二つのことを示しています。一つは持続的な経済成長の分野で目指すゴールについて、二つ目は、その経済環境の中で、働く人々がどのような働き方をするかという点です。

最初の点は、あまりにも膨大な、かつ高度な経済的、政治的な課題を乗り越えていかねばならないものです。それは政界、官界、財界のトップが国の舵取りをするようなものです。ゴール8のターゲット10項目のうち6項目が、そうした点について記載されています。

では、働く人の雇用環境について、これは国民一人一人と直接的に関わってくることでですから、この点に注目して話を進めてみたいと思います。ターゲット10項目のうち、5番から8番までがこれに関連するものです。それを要約すると次のようになります。

5番「若者、障害者を含むすべての男性・女性は、人間らしい仕事に従事し、同一労働同一賃金を達成する」

6番「若者の就学を進め、就労への職業訓練を進める」

7番「強制労働を根絶、奴隷制や人身売買を終わらせる。児童兵士の募集・使用を含む、児童労働を禁止する」

8番「男女を問わず移住労働者の安定した雇用環境、諸権利の保護、安全・安心な環境を促進する」

わが国から見た場合、いまさらこのような点を改めて指摘しなければならぬのかという言言もあり。しかし、アフリカをはじめ、中南米、アジア

などでは、過酷な労働環境の中で生活する人々がいるのは事実です。

劣悪な労働環境で従事していた人々が悲惨な事故に巻き込まれたニュースが話題となりました。それは2013年4月24日、バングラデシュの首都ダッカの郊外サパールにある商業ビルが突如倒壊しました。亡くなった人は1100人以上、負傷者2500人以上、行方不明者500人という大惨事でした。後にビルのオーナーらが、安全管理がなされていなかったとして逮捕されました。

このビルには銀行などが入っていましたが、大半は縫製工場で、27の有名ファッションブランドの縫製工場もあったために、世界的に話題になりました。これほどの大惨事の原因は、バングラデシュでは低賃金で就労させることができるために世界のアパレル会社が進出、地元利益をあげるために、劣悪な労働環境で人々を働かせていたというわけです。



共同作業で仕事のモラルとスキルとを共有できる。全に「協定」が設置されH&Mなどのアパレル企業や関連企業222社がこれに署名して、再発防止に努めているといわれています。

ア戦略政策研究所」が、中国新疆ウイグル自治区でウイグル人の強制労働が一部企業で行われていると指摘。これに関連して、ウイグル人が綿花栽培のために強制的に働かされているという話まで出て、今では中国の人権問題の有無にまで発展しています。

ユニセフによると、世界各地の紛争国等で児童兵士は約25万人いると指摘しています。最新のデータでは、各国の努力によって2017年までの10年間に6万5千人が保護され、教育を受けているといわれています。しかし解決にはほど遠いのが現実です。

では、私たちは「雇用問題」をどう考えればよいのでしょうか。「賃金」をとってみても経営者はよいのでしょか。安物を求める消費者の姿勢にも問題がある、と指摘する論者もいます。



青年と従業員と安物を求める消費者の姿勢にも問題がある、と指摘する論者もいます。SDGsのゴールとターゲットを

「あらゆる場所のあらゆる人が幸福になることを求めている」のであり、経済的視点とともに「人と人の繋がり」を重視することを忘れてはなりません。翻って、パラグアイ・レダで開拓を進めている私たちに、仕事をともししている地元従業員たちとその家族をどのようにみることが大切でしょうか。無難、大企業と中小企業、個人経営とは自ずと、上司と部下、経営者と従業員の関係の色合いは違いかも知れませんが、基本は何と言っても「人と人の繋がり」は他を貴ぶ心ではないでしょうか。

私たちは人としての基本的な生き方を学んで、レダに入植したのであれば、片時も忘れず隣人を尊く思いながら活動したいものです。(つづく)

レダ体験者へのリモートインタビュー

本田 佳香（ほんだ よしか）さん…昨年4月にレダに赴任した4名のボランティアの一人。今年1月に帰国するまで、他の3名と同様、熱心に奉仕活動をしてきました。第21回国際協力青年奉仕隊員。

Q レダではどんなことを担当しましたか？

A 養豚と養蜂のプロジェクトを担当していました。養豚では、豚たちを世話することの大変さや、命をいただくことの有難さを身をもって感じることもありました。また、暑い



人間に命をくれる豚に真心をこめて。

中で行う仕事は大変でしたが、現地の従業員たちと力を合わせてやり遂げた時の達成感はとても大きかったです。養蜂のプロジェクトでは、まだまだ巣箱の数も少ない状況ではありますが、事業計画書を岩澤所長と一緒に立てていくことで、事業化するのに、とてもいいプロジェクトだと分かりました。例えば、農作物や森林の受粉を蜂が助けることで自然を保護できます。また、人件費も比較的に少なく済みます。蜂蜜は常温保存ができ、消費期限も長いので、運搬・流通の面でも有利です。ほかにもメリットは、たくさんあります。蜜だけでなく、蜜蝋で



牛肉を切り分ける作業を手伝いました。

石鹸やクリームも生産することもできるため、メリットが多くとても希望的な事業であると感じました。**Q** レダで最も苦心したことは何ですか？

A 暑さと蚊です。私たちが滞在していた時は、蚊が

少ない時期でしたが、場所や時間帯によっては多い時もあり、特に帰国前の一か月くらいは蚊が多かったです。虫よけスプレーをして、長そでを着ていても、蚊が何十匹と集まって刺してきました。私は暇さえあれば釣りをしていたので、釣りの最中、蚊の多さと暑さに苦しみました。

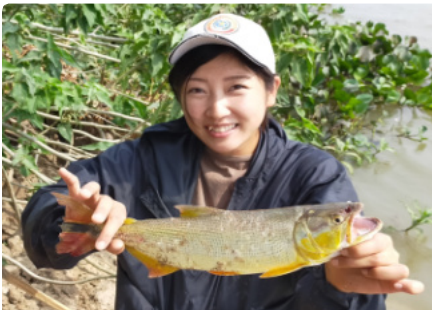
Q レダで最も嬉しかったことは何ですか？

A 日本では経験すること自体が難しいような、たくさん新しい経験をさせてもらえたことが、最も嬉しかったです。毎日が新しいことだらけで、9ヶ月では足りないくらいでした。あとは、パンタナールで釣りができたこと、心が広くて優しく面白く現地の人々と一緒に仕事ができたと、多くの先生方・青年たちと共に歩めたこと、そして自然と過ごす毎



蜂蜜を処理する本田さんと岩澤所長。

Q 将来の抱負をどうぞ。
A 特に自然の素晴らしさを感じた期間だったので、自然保護に関わる仕事をしていきたいです。できればもう一度レダに行つて、もつとレダの前進と発展に貢献したいです。



パラグアイ川でドラドを釣りました。

長できる場所だと思えます。レダの前進と発展を祈ってます。

Q その他、何でもどうぞ。
A 大きな理想と目的のためにレダに関わってきた全ての人たちに対して尊敬の気持ちでいっぱいです。自然の中で愛と感謝の生活を通して、内的にも外的にも成長

会員の皆様へ

会員の皆様には、周囲の方々にレダ・プロジェクトを紹介し、入会の案内をしていただければ幸いです。紹介用のパンフレット（印刷済み）、および入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。



入会申し込みは、左のQRコードから、グーグルフォームでも行えます。パソコンでは、下記のURLにアクセスしてください。

<https://asd-nsa.com/nk/>

レダ・プロジェクト紹介用パンフレットPDF版



紹介用パンフレットは、ネットでも入手いただけます。

スマホなどの端末で、または印刷してクリアファイルに入れてどうぞ。



<https://asd-nsa.com/sk/>

一般社団法人 南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話: 044-829-2821

FAX: 044-829-2820

支援金振込口座: ゆうちょ銀行

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: office@asd-nsa.com

ホームページ: <https://asd-nsa.com>

Facebook: <https://www.facebook.com/ledaproject.jp/>